

福島小だより

学校通信



めざす児童像：考える子 やさしい子 元気な子
令和7年1月31日 第12号

甘楽町立福島小学校
校長 新井 綱人

○地域で挨拶ができる子に

学校では、全校集会などの機会に、学校目標（目指す児童像）である「考える子」「やさしい子」「元気な子」の姿が見られる場面の写真をスクリーンに映しながら校長が話をしています。その中で「やさしい子」を実践できているかどうかを評価する一つの視点として、自分たちが使うトイレのサンダルのそろい方を見るように児童へいつも話しています。

「元気な子」が実践できているかどうかについては、まずは元気に朝の挨拶ができるようになってほしいと児童へ話をしています。昨年12月に行った学校評価の中で、朝、通学路の各地点で旗振りをしてくださる方への挨拶ができない児童が多いとのお声を、複数の保護者の方からいただきました。朝、体育館前の横断歩道脇に立っていると、「校長先生、おはようございます」と先に言える児童もいる中、こちらから挨拶をすればほとんどの児童が挨拶を返してくれます。先日の全校集会では、朝の旗振りをしてくださる人や顔を知っている地域の人、月に1回下校時の見守りをしてくださっている更生保護女性会の皆さんに挨拶をするよう改めて話をしました。各ご家庭でも、お子さんに「地域の人に挨拶ができる？」などと継続的にお声かけしていただければ幸いです。



約10年間、雨の日も雪の日も休まずに、体育館前の横断歩道で毎朝見守り活動してくださった15区在住の齊藤榮一さんが、ご高齢による体調面のご心配もあることから、活動を終えられることになりました。長い間大変お世話になり、ありがとうございました。

○書き初め大会

1月8日～10日に校内書き初め大会を行いました。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で、子どもたちは静かに集中して取り組んでいました。

3年生以上の児童は、昨年12月に特別講師の先生から教えていただいた姿勢をしっかりと取り組んでいました。



1年



2年



3年



4年



5年



6年